

ハイドロカルチャーを育てて作って 30 年



「ハイドロカルチャー」は土を使わず植物を育てる水耕栽培。土の代わりに保水性のある人工石などを使い、室内でも衛生的にグリーンを楽しめるのが人気です。中川園芸の中川ご夫婦は、三郷市幸房でハイドロカルチャーの製造・卸を始めて30年。ハウスの中へお邪魔しました。



約 500 坪の温室には、スリランカ、フィリピンの他、石垣島から輸入された観葉植物が常時 30 種類以上並んでいるそうです。土ではなく、水を張った栽培ベッドにずら〜っと並ぶ植物。まるで水面に浮かんでいるみたい。

「昔は土耕をやってたんだけど、三郷にたくさん雲が降って、作物がだめになっちゃった年があって。ちょうどその頃ドイツから入ってきたハイドロカルチャーを紹介されて、じゃ、やってみようって、ハウス建てちゃったのよ」と快活に話してくれたのは、商品プロデュースを担当している奥さん。買い物ついでに、いろいろなお店をのぞいたり、海外見本市へも足を運ぶそうです。「今は、ホームセンター、卸市場、ネット通販会社へ商品を提案しています。やっぱり他と違う、新しいもの作らないと面白くないじゃない。」言いながら見せてくれたのは、カラフルな砂。



「これはカラーペット。ペットボトルをリサイクルしてチップにしているんですよ。環境のことも考えないとね。もとは白だけだったのを、色があったら面白いからって、工場に作ってもらったんです」なんと、このカラーペットを使って、ハイドロカルチャーポット作りを体験させてくれることに！つぶちゃん、楽しみだね！『カラベ』ハイドロカルチャーポット作り体験！ブルー系、グリーン系、イエロー系の『カラベ』ことカラーペットを使って、いよいよポットを作ります。



材料はガラス、カラベ、そして観葉植物。ガラスの面に沿ってカラベをグラデーションになるようにスプーンで入れていきます。きれいに见せるコツは、ガラスを回しながら、色が重ならないようにすること。



あっという間にカラフルなハイドロカルチャーポットができました。「ここで撮影できますからね」なんとミニ撮影スタジオが！自慢の作品を記念撮影できるなんて、嬉しいおまけ付き。つぶちゃん初のカラベハイドロカルチャー！頼まれれば、全国各地へ行ってワークショップを行うそうです。※ワークショップは不定期開催です。体験希望の方は中川園芸へお問い合わせください。



「夢はね、アメリカにカラベのハイドロカルチャーを広めることなの。ペットボトルが生まれた国に、リサイクル製品を逆に広めるっていいでしょ？」アイデア豊富でパワフルな奥さんと、そのアイデアを形にする寡黙な社長さん。とても素敵なお二人だったね、つぶちゃん。